

国際シンポジウム

世界の気候変動訴訟の現状と 日本での可能性

International Symposium: Status of Climate Change Litigation
in the World and its Implication to Japan

気候変動問題が深刻化し、各地での異常気象による被害が人々の生活や生命を脅かすレベルになっています。世界では行政や企業に対する気候変動訴訟が提起されています。今回のシンポジウムでは、ペルーの農民がドイツの電力会社を訴えたケースや、オランダでの行政に対する訴訟や米国での様々な訴訟を事例に取り上げ、世界での気候変動訴訟の実態を知ると同時に、日本における気候変動訴訟について考えていきたいと思えます。どなたでもご参加できますので、ぜひご参加ください。

日時： **2018.2.22. THU. 13:30-16:30**

会場： **TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター HALL 5A**
TKP Tokyo Station Nihombashi Conference Center

アクセス：地下鉄 日本橋駅 A1 徒歩 1分
JR 東京駅 日本橋口 徒歩 4分

参加費無料
同時通訳あり
先着 100名



主催：早稲田リーガルコモンズ法律事務所・気候ネットワーク
協力：日本環境法律家連盟

Program

開催趣旨 Welcome Remark

第1部 海外の気候変動訴訟

Climate Change Litigation in Abroad

1.1 より先進的な気候変動対策を求める訴訟

Litigation for more Ambitious Mitigation Policy

デニス・ヴァン・ベークル (気候訴訟ネットワーク (オランダ))

Dennis van Berkel, Climate Litigation Network (Netherland)



デニス・ヴァン・ベークル氏

1.2 脱石炭社会のための法的戦略

Legal Strategy for No-Coal Society

ブルース・ニルス (シエラクラブ (アメリカ))

Bruce Nilles, Senior Director, Beyond the Coal Campaign, Sierra Club (US)



ブルース・ニルス氏

1.3 電力会社に対する気候変動による損害賠償請求

Suing the Public Utility for Damages caused by Climate Change

クリストフ・バルス (ジャーマン・ウォッチ (ドイツ)) –ビデオ出演

Christoph Bals, Germanwatch (Germany) (video conference)



クリストフ・バルス氏

質疑応答 Questions and Answers

第2部 日本における気候変動訴訟の可能性と課題

Opportunities and Challenges of Climate Change Litigation in Japan

福田健治 (早稲田リーガルcommons法律事務所) ほか

Kenji Fukuda, Partner, Waseda Legal Commons Law Office (Japan)

質疑応答 Questions and Answers



福田健治

閉会挨拶 Concluding Remark

浅岡美恵 (気候ネットワーク)

Mie Asaoka, President, Kiko Network (Japan)

*プログラム変更の可能性あり

申し込み方法

参加を希望される方は、以下のウェブサイトか、右のQRコードからお申込みください。

▶ <https://goo.gl/forms/M33eNNX77b2tUxIz2>



▶ QRコード

もしくは、【件名】国際シンポジウム：世界の気候変動訴訟の現状と日本での可能性 参加申込みとして、気候ネットワーク東京事務所まで下記項目をお知らせください。

- ・お名前 (ふりがな) ・会員種別：会員/非会員 ・ご所属：一般/学生
- ・その他 (ご質問・メッセージ等)

お申込み・お問合せ：特定非営利活動法人 気候ネットワーク 東京事務所

TEL：03-3263-9210 FAX：03-3263-9463

MAIL：tokyo@kikonet.org URL：http://www.kikonet.org/